

明日にむかって

発行 社会福祉法人陽光会 編集「明日にむかって」編集委員会 発行日 2020年3月6日
住所 〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03-3956-1068(陽光保育園)
社会福祉法人陽光会 HP <http://youkou-kai.com>

91号

先日、保育園での荒馬座ミニ公演を終えた直後のこと、3歳児の担任が「誰かお客さんになってもらえないですか」と事務所に駆けてきました。部屋に行ってみると、段ボールで簡易につくった荒馬の頭を持った数人の子どもたちが、部屋の隅にある衣類ロッカーの棚の陰に隠れていて、担任の太鼓の音に合わせて飛び出し、片足けんけんを駆使してびよんびよん跳ねて踊らせてくれたのです。年長児が数日前に踊ってくれた姿に憧れていた子どもたちが、荒馬座の踊りにさらに刺激されて、踊りたくなったのでしょう。すでに10回以上踊っているというのです。子どもの想いに応える大人がいて、キラキラした表情を見せてくれる子どもがいる。あ〜、保育っていいな。(R・T)

陽光保育園の園長が替わります



陽光保育園では、2020年4月より、徳留人美に替わり齋藤彩子が園長に就任します。この場をかりて二人からご挨拶申し上げます。

みんなのでつくる みんなの保育園をめざして

齋藤彩子 陽光保育園新園長

私が陽光保育園と出会ったのは、28年前のことです。保育専門学校に通っていた当時、実習先として訪れたのが陽光保育園でした。他の園でも実習をしていましたが、陽光の空気を吸った瞬間、「私、この保育園好きだな」と感じたことを今でも覚えています。子どもたちはもちろん、保育士も、保護者も、いつもハツラツとしている気持ちよさに強く惹かれました。

し合いながら「みんなの保育園」を引き続きめざしていきたいと思っています。保護者の方をはじめ、地域の方々にも愛される保育園をこれからも大事にし、子どもたちが安心して自分らしく成長できる場所として、皆さまと力を合わせていきたいと思っています。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

長い間ありがとうございました。

徳留人美 陽光保育園園長

陽光保育園との出会いは36年前、結婚を機に東京に来て保育士として働き始めたときでした。園長職に就いてからはちょうど10年になります。

保育園という場所で働いてこられたことは、本当に幸せでした。たくさんの子どものと家族、そして働く仲間を支えられ、自分を見つめてきました。



新園長 齋藤彩子 (さいとう あやこ) 1973年東京生まれ。保育の専門学校卒業後 陽光保育園一筋28年

そして2020年度から園長を務めさせていただきますことになりました。歴史のある「陽光」をこれから守ることへの緊張は計り知れませんが、反面、これからの「陽光」をつくる楽しみもあり、みんなで見守る日々でした。

担任として卒業させた子どもたちが昨年交流会を開いてくれました。みんな20歳の素敵な青年になっていました。それぞれが記憶をたどりながら保育園生活の思い出を語ってくれました。意外にも大きな行事のことより、靴がなくなったとき、誰が叱られて誰が自分の味方をしてくれたのか、クラスの話し合いで誰が泣いたのかなど、毎日繰り返された日常のエピソードがほとんどでした。泣いたり笑ったりして友だちとの絆を深めながらの生活が子どもたちの心の支えになっていたのだと感じました。

担任として卒業させた子どもたちが昨年交流会を開いてくれました。みんな20歳の素敵な青年になっていました。それぞれが記憶をたどりながら保育園生活の思い出を語ってくれました。意外にも大きな行事のことより、靴がなくなったとき、誰が叱られて誰が自分の味方をしてくれたのか、クラスの話し合いで誰が泣いたのかなど、毎日繰り返された日常のエピソードがほとんどでした。泣いたり笑ったりして友だちとの絆を深めながらの生活が子どもたちの心の支えになっていたのだと感じました。

子どもの世界

～陽光保育園～

1歳児 — 正論!?

散歩中に大きなクレーン車を見て、A君「たかいな〜 おっきいな〜 乗りたいな〜」 R君(食い気味にすかさず)「う〜ん、ムリ!!!」あまりにもスパッと正論を言い放ったR君。保育士も一瞬ポカーンとしてしまいました。

1歳児 — チューリップ?

Nちゃん(自分のエプロンに描かれている恐竜の足跡のイラストを指さして)「これなんだ?」保育士「何かな〜? 何だろう〜? (わかってるのに……)」 Nちゃん「チューリップだよ!」 思わぬ答えにビックリ! でも妙に納得。

1歳児 — ちっちゃいおじさん

食事の後に手を拭くお手拭きのタオルで必ず顔もおでこも全部拭くNちゃんは、「ちっちゃいおじさん」と自分で言いながら拭きます。保育士大笑いです。

保育士募集



現園長 徳留人美 (とくとめひとみ) 北海道生まれ。保育士として陽光保育園に勤めて36年。最後の10年間は園長および社会福祉法人陽光会理事

正規の保育士募集中です。 ●桜台第一保育園(練馬区) ●採用:2020年4月1日 *詳しくは陽光会HP「求人情報」をご覧ください。

親子でいっしょにあそびましょう

●陽光保育園●

2020年度も、保育園の子どもたちが日ごろ遊んでいる「砂遊び」と「リズム遊び」を主に計画しました。これまでに参加されたみなさまからも「家庭ではできないことができてよかった」「とても楽しかった」など、たくさんの感想をいただいています。公園ではできない遊びが体験できますよ。親子で気軽に遊びにきてください。無料です。

場所 陽光保育園(板橋区大谷口上町23-1) ☎3956-1068
時間 午前9時30分〜11時(赤ちゃんは10時30分まで)
対象 0歳児〜就学前のお子さんと保護者

*参加ご希望の方は実施予定日の3日前までにお電話ください。
*動きやすい服装で、タオルと着替えをご持参ください。
*お天気により内容を変更する場合があります。
*0歳のお子さんは、室内にて、赤ちゃん体操・あやし遊びなどでゆったり過ごします。

2020年度◆年間予定

4月21日(火)	5月19日(火)	6月16日(火)
7月21日(火)	8月18日(火)	9月15日(火)
10月20日(火)	11月17日(火)	12月15日(火)
1月19日(火)	2月16日(火)	3月16日(火)

【予定】9月:健康相談(看護師) 11月:[食]の相談(栄養士)
*新型コロナウイルス感染症の状況により予定が変更になることもあります。ご承知おきください。

社会福祉法人陽光会◎近況

●陽光保育園●

ほぼ毎日、リズムも歌も楽しんでいるめだか組(1歳児クラス)。ピアノから知っている曲のメロディが流れると、大きい子たちのまねのかすと立ち上がり、腕を後ろに組んで歌う姿はなんだかいい感じ。リズムでは「ウサギ」の両足飛びが楽しくて笑顔がはびこり、少し難しい「カメ」の動きもがんばっています。音楽にのせも身体も解放させて、寒さなんて吹き飛ばす毎日です。(2020.2.3記)



大きな紙に、思い思いに自由に描く。2歳児
お母さんにうれしそうに伝えています。皆で楽しさを共有するって素敵なことだなと感じます。(2020.2.14記)

●桜台第一保育園●

2歳児の子どもたちは今、室内の活動をたくさん楽しんでます。クレヨンを使ってダイナミックに絵を描きます。「これ、はんのういきたよ」と、くるくる丸やまっすぐな線を線路や電車に見立てて友だちとの会話ははびこります。運動会で使用した牛乳パックのレンガをおうちに見立てて、おままごとも楽しんでいます。

●北町保育園●

友だちと一緒に何かを作り上げる活動を楽しんでいる4歳児クラスでは、人形劇「こころが盛り上がりつつあります。ペーパーサートのように、広告紙を丸めて作った棒に、自分たちで描いた人の顔や折紙の動物などをくっつけて人形をつくり、大きな段ボールを舞台として準備万端です。お話の内容や動きなど、子ども同士でイメージを共有しながら演じます。司会やお客さん役もみんな役割分担しながら楽しんでます。(2020.2.3記)

●板十小あいキッズ●

あいキッズでは最近、紙飛行機づくりが盛り上がりつつあります。先日、体育館で遊んだときは、体育館の端から端へ届いたり、空中を何回も旋回する機体もあり、歓声が上がりました。調べてみると、紙飛行機には全日本大会があり、滑空時間や距離などを競う種目もあるようです。いつか代表選手が現れるかもしれません。(2020.1.31記)



広い体育館で、紙飛行機を飛ばす

ごあんない

●陽光保育園 ●卒園式 日時 3月20日(祝) 9時30分
会場 陽光保育園ホール

●夏のバザー 日時 7月5日(日) 10時〜14時
会場 陽光保育園

●北町保育園●卒園式 日時 3月14日(土) 9時30分
会場 北町保育園ホール

●桜台第二保育園●卒園式 日時 3月14日(土) 9時30分
会場 桜台第二保育園ホール

*新型コロナウイルスの感染拡大により、今回の卒園式は、いずれの園も園児と保護者、職員のみで執り行うことになりました。ご了承ください。

●陽光会後援会

●春の交流会(中止)
*陽光会後援会主催の「春の交流会」は新会員の歓迎も兼ねた毎年恒例の行事です。今年も4月19日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の先行きが見えないため、「中止」とさせていただきます。

●陽光会後援会総会

日時 5月22日(金) 18時30分〜軽食 19時〜総会
会場 陽光保育園ホール
*「陽光会後援会総会」も現状では予定どおり実施できるか、まだ見通しはたっておりません。予定が変更になることもあり得ますので、ご承知おきください。

大きくなったね会—表現する喜びを育てる

陽光会の保育を紹介する新シリーズです。

北町保育園では、「子どもの表現する喜びを育てる」というねらいのもと、3〜5歳児クラスを対象に「大きくなったね会」を毎年12月に開催しています。

11月頃から準備を始め、民舞や太鼓、劇ごっこなど、クラスごとに演目を決め、取り組み状況はクラスニュースでお知らせし、当日は「こんなに大きくなったよ」という姿を保護者に披露します。今年の演目は5歳児が太鼓「かがやけばやし」に劇ごっこ「チボリーノ冒険」、4歳児が、



4歳児クラスの演目の一つ「虎舞」。写真は、3グループに分かれて踊ったうちの一つ。表情豊かな虎の頭は紙箱を利用して、自分たちで作りました。シマシマの虎のパンツは日々使われている年代物。子どもたちも表情豊か

民舞「虎舞」に劇ごっこ「えりごダンブをやっつけろー」、3歳児は、劇ごっこ「3匹のこぶた」でした。会の始まりと終わりには、異年齢でいっしょに歌も歌います。子どもたちの成長を保護者とともに喜び合う場となっています。

クラス全員で話し合うことから

ばんだ組（4歳児クラス）は今回、虎舞と劇をすることを決め、クラスみんなで話し合いを進めました。初回の話し合いではH君が「そんなごっこがやりたい！」と、みんなに提案することから始まりました。この時期、クラスみんなが大好きになっていたお話で、担任も「きつと『そんなごっこ』になるだろう……」と、台本の素案も作っていたほどでしたが、女の子たちは「ちょっとかきと、せつた

いやだ！」などと大反対。やりたかったお話を「いやだ」と言われて落ち込むH君。女の子がどんな劇ならやるのかを考えて「にんじやなら、おんなのこできるんじゃない？」と提案する子もいました。しかしH君は、「おれはそんなごっこがやりたい！ Sくんややるんだ！」と、熱い思いを伝えていました。その思いはわかって、簡単には決められないため、後日また話し合いをすることになりました。

自分の思い、友だちの思い、意見の違いがわかって……

次の話し合いでは、それぞれが考えてきたお話を話し合い、「みんながわかるお話かどうか」も一緒に考え、「さるかにがっせん」「そんなごっこ」「ダンブえんちようやっつけた」の三つのお話に絞られました。しかし、いざ三つに絞られてもなかなか一つには決められません。

やりたい役で一つのお話をつくりあげる

どんなふうにも決めていくのかを担任間で相談し、一つに決めることも大事かもしれないけれど、子どもたちにやりたい役があるならばやらせてあげたい、という思いで



何度も話し合いを重ねて決まった4歳児クラスの劇は、「ダンブ團長」なため担任が「えりごダンブ」(写真上、中央)をやっつけるお話。手作りの壁の陰に隠れて待ちかまえるのは、「サルカニ合戦」のハチや栗などに扮した子どもたち(写真下)。「やっつけちゃうぞー」

私の戦争体験

「もっと勉強したかった」(2)

柴田 イツ子



1945(昭和20)年6月19日、夜11時10分～1時30分にB29が来て大空襲になり、福岡市の中心部は全部焼け野原になってしまいました。私は中心地から離れた箱崎という町にいたので、空襲にはあいまぜんでしたが、防空壕に入ろうとしたときに空が真っ赤になり、黒いひものようなものが雨のように空から降ってくるのが見えました。B29が飛ぶ重い音もして、とても怖かったのを覚えています。

1945年8月15日、その日は私は栄養失調気味で身体をこわし、学校を休んで、家で放送を聞きました。なんて言っているのかわかりませんが、戦争に負けたとわかって悲しかったです。でも夜、黒い布をかけない電灯はとても明るく、うれしかったです。

その年の9月学校に戻りました。教科書に墨を塗りました。それまで学校で教えていたことは間違いだったということだったのです。戦争が終わってから1年間、専攻科に行き、料理や裁縫などを習いました。他の教科はほとんどやりませんでした。

1948(昭和23)年、福岡で就職しました。三菱電機の代理店で、ミシンやラジオ、冷蔵庫などを扱っていました。5年くらい働いて、その後結婚して、東京に住むようになりました。夫は5歳上で、予科練に行っていたことがわかりました。出撃するにも飛行機がなかったということでした。

苦しい時代ではありましたが、皆助け合って生きてきたように思います。

戦争中を振り返って思うこと。
戦争は人間を変えてしまいます。どんなことがあってもしてはならないのです。戦争は大切な人を亡くしたり、大切な家庭をこわされ、戦場では人間を変えてしまうからです。
話し合って解決することが大切なのではないでしょうか。お互いを思いやることで戦争をしないで、この平和を守り続けなければいけないと思います。
残念な時間をすごしてしまった！
私はもっと勉強したかった!!! (板橋区前野町在住/89歳)



大きくなったね会のラストは、4歳児、5歳児全員の合唱。「森から森へ」ほか



人に優しい心をもつ大人に

今回はパングラデッシュ出身のホサインさんに、インタビュー形式でお話を聞かせていただきました。子育てをしていくなかで、日本とパングラデッシュの文化や家族の在り方の違いなど貴重なお話をたくさん聞くことができました。
—子育てについての大変さは？
仕事の時間が長いときは大変だけど、子育てについては大変だとはあまり感じない。子どものためにできることを今は精一杯やっているのだから、それは苦ではないです。子どもがわがままを言ったりすることもありますが、そのときには父・母の役割をチェンジしながら子どもに話をしたり、皆で話し合うことを大事にしています。
—子どもの成長を実感すること
1年生になって片付けをよくするようになりました。また、自転車に乗っていると「パパ、自転車ゆっくりね」と言ってくれたり、薄着していると「風邪ひかないように」などと大人のようない方をしてくれたり、薄着していると「風邪ひかない」と言ってくれたり。ママのような言い方というよりも、パングラデッシュにいる自分の母のような言い方に感じます。傍にいたらそんな言い方をしてくれるかな……。自分の母とは離れていくけれど、傍にいたような感じがする。それが自分の宝物のように感じます。
—子育てで大事にしていること
日本だと、将来1人で生きていけるように、何でも1人でできないといけないという考えが強いように感じます。パングラデッシュでは大きくなって自立したら、その分他人を守っていく、助けてあげてほしいという思いが強い。自分が小さい頃、近所の人や家族、親戚も関係なく周りの人が助け合っていた。困っている人がいたら、できることがあればやってあげる。そんな周りの大人の姿を見て育ってきたので、自分も子どもにそのようなことを伝えていきたい。人に優しい心が育ってほしいと思います。
—最後に
陽光会で知りあえた皆が優しく、困っていることや要望を聞いて受け止めてくれる。外国人として、ありがたい気持ちです。ありがたうございます。
(板橋第十小学校あいキッズ1年生・ファリアの父・ムハンマドワヒッド・ホサイン)

のびのび体操 1・2・3

ワン・ツースリー 赤ちゃんからリズムへ 東京・陽光保育園 小内康寛

最終回 ハイハイって大切

ヒトの体には重力に対するために、3つのパネがあります。

その一つが背骨のパネです。背骨は真っすぐな棒ではなく、突起のある円すい形をした骨がつながってできていますし、途中3カ所で湾曲しています。内臓を守るために、胸のところは後ろに湾曲しています。上半身を支えるために、腰のところ前に湾曲しています。この背骨に湾曲ができ始めるのも時期があります。生まれたばかりではほとんど真っすぐです。お座りができる6カ月ころになると胸の後方湾曲ができ始めます。四つんばいが始まる8カ月ころ、首の前方湾曲ができ始めるのです。

寝返りやハイハイなど赤ちゃん時代(横の時代)に十分に運動をしていると、正常に背骨は発達してきます。リズムでいうと、「どんぐり」「ハイハイ」「金魚」「子馬」(右図)「ザリガニ」等です。ザリガニは、図1のような運動です。5カ月ころから出てきます。

このように、その時ときに大事な運動をしていけば、正常な発達をしていくのですが、そうもいかない現状もあります。

そのほかにも、腕のパネ、足のパネがあって直

立二足歩行を保障しているのです。横の時代の運動は直立二足歩行をするための体をつくる基本的な運動です。ですから、歩き始めても、寝返りやハイハイの運動は大事なのです。

直立二足歩行のための基本的運動

図1



*『新婦人しんぶん』2001年3月22日号掲載